

No.2-2005

平成17年2月28日発行

2月例会を終えて

去る2月14日(月) 秋田キャッスルホテル4階放光の間において、2月例会が開催されました。「失敗から学ぶ成功経営の途」をテーマに、株式会社日本トップマネジメント研究所 代表取締役 二条彪氏を講師としてお招きし、2時間にわたりご講演を戴きました。

二条氏は、ご自身で企業の立ち上げ、事業継承、事業清算を実際にご経験されており、当日はご自身でご経験されたからこそ話せる話題を随所にちりばめ、非常に有意義な講演となりました。

講演では、企業経営の本質や経営者としてあるべき姿、企業経営を永続的に発展させていく上で経営者が取るべき行動の指針などを非常に分かり易く、且つポイントを押さえた内容がメインでしたので、講演中にさかんにメモを取るメンバーの姿が数多く見受けられました。

中でも「閾値を超える」というお考えは、何事も集中的に取り組まないで小出

しにしているとスタートと何も変わらない状態に戻ってしまう、我々中小企業も考え方を改めるべきだという、今後取り組むべき視点を教えて戴いたように思います。

この例会を通じて、メンバー全員が今後自分の企業をどうしていくべきか、どうあるべきか、何を注意していかなければいけないのか、様々な気付きを与えてくれた例会だったと思います。メンバー企業がそれぞ



れ、これから発展していく上での礎となれば、委員会として一番嬉しい限りです。

最後になりますが、当日お忙しい中ご参会戴いたメンバーの皆様、本当にありがとうございました。

経営資質向上委員会 委員長 猿田由紀夫

組織進化検討委員会2月オープン委員会を終えて

去る2月8日、秋田キャッスルホテルにおいて、7月に当LOMにて主管いたします、第35回秋田ブロック会員大会の同時開催事業についてオープン委員会を開催させて頂きました。

当日は急なご案内にもかかわらず、28名のメンバーに集まっていただき、当委員会において何度も繰り返し協議してきた7つの事業の案件に関して皆様からのご意見等を戴くという内容のものでした。

準備不足のため、資料が間際になってしまい、ご参加いただいた皆様には大変ご迷惑をおかけしました。それにもかかわらず皆様からは本当にたくさんのご意見を頂戴することができ、当初の目的は達成できたものと思っております。



オープン委員会で皆様から戴いたご意見を、7月のブロック会員大会に反映させるべく、今後も委員会メンバー一同邁進していく所存でございますので変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。

組織進化検討委員会委員長 川口雅文



これまでのJC生活と私

私のJC入会は平成9年1月で、今年度で9年目ということになりました。入会当時の私は東京から戻ってまもなくの時点で、地元の仲間もほとんど秋田を出ており、ただ日々を過ごすだけの平凡な毎日でした。そんな時JC入会を勧められたわけです。JCの認識もほとんどなく、人に勧められるがままに入会したこともあり、初めは右も左もわからず、JCっていったい何をしている団体なのだろうと思っていたものでした。

しかしJCスクール、初めての例会、委員会配属と経ていくうちに、なるほどJCとは自己を高めながら地元をより良くしていこうとする団体なのかと認識したのを覚えています。

私にとってのJC生活は人との出会いということに尽きるような気がします。仕事との両立という点で、あまり深くJC活動に従事できたとは思いませんが、この9年間のJC生活の中でかけがえの無い

出会いが数多くありました。これは単に仕事だけをしていたのでは絶対に得られないものです。様々な業種の集まり、しかも秋田という地元を拠点として活動しておられるメンバーの集まりであるJCでなければ得ることのできないものだと思います。

45周年の年に入会し、翌年の文化デザイン会議、そして50周年と秋田青年会議所にとって大きな記念すべき事業の時代にJCに所属できたのはとても幸せなことだと思っております。また、今年ラストを迎えるにあたり、とてもやりがいのある委員会に所属できたことも、感謝すべきことだと思っております。

最後に、私は今年卒業予定となっておりますが、卒業後もJCで培ったことを自己、会社、地域で活かしていければと思っております。

魅力あるあきた推進委員会 小熊 秀一

『ヨイヤサッ！にっぽん！！』

～ 天に羽ばたかんとする白鷺の天守のごとく～

私の出向している全国大会運営会議、通称『全運』について紹介させて戴きます。

皆さんご存知の通り、今年度の全運議長は当秋田青年会議所の斎藤秀光君であります。また、女房役の総括幹事は2003年度当秋田青年会議所において斎藤議長とは理事長・専務の関係にあった渡部裕君であります。議長・総括のほか秋田JCからの出向者メンバーは佐藤透君、岡竹博昭君、鈴木亮君、松本大君、小畑宏介君、そして私であります。

昨年12月には秋田の地で予定者会議を開催いたしました。その際には懇親会や二次会または送迎等においてLOMの皆様には多々御協力を戴き、この場を借りて御礼を申し上げます。ありがとうございました。

全運の主な事業内容としましては、今年度開催の第54回全国会員大会姫路大会の実施、2006年度第55回郡山大会及び2007年度第56回帯広大会の進捗状況の確認、2008年度第57回全国会員大会主管立候補地の現地調査等があります。もちろん、今年開催される第54回全国会員大会姫路大会に関しての事業というのが一番ウェイトを置かなくてはならない部分であります。

現在は、9月29日から10月2日にかけて開催される姫路大会の成功に向けて、姫路青年会議所の大会実行委員会のメンバ

ーの方々と共に、毎月の会議において協議を重ねております。また、会議後に行われる懇親会も徹底的に行うのが全運流（秀光流？）ですので、私達全運のチームワークは本番の頃には揺るぎないものになっているのは間違いありません。

最後になりますが、より多くのメンバーが今年度の全国大会に参加して戴いて私達出向者の勇姿をご覧戴ける事を期待しております。

『ヨイヤサッ！にっぽん！！』

(社) 日本青年会議所 総務グループ

全国大会運営会議 委員 松本 繁



ダブルで出向なんです

本年、いろいろとありまして日本青年会議所及び東北地区協議会にダブルで出向することとなりました。

出向は「いろいろな地域で、いろいろな人と交流を深め、自分の懐を深めるにはこれ以上のものは無い」と個人的には考えており、出向のお話がきた時も出来るだけ快諾できるよう調整しました。

今回日本JCは全国大会運営会議そして、東北地区は

全国大会支援会議と全国大会漬けの出向となり、又ダブルの出向も初めての経験であり、いろいろな意味でチャレンジできるチャンスだと思っており、非常に楽しみです。

それではみなさん、宮古と姫路でお会いしましょう。
TOYP・・・もとい人間力大賞運営委員会 委員

松本 大

スルメを噛め！

私は今、山形県山形市のビジネスホテルに居る。原稿の依頼が来てから、何を書いたらいいのか毎日考えていました。まずは、「卒業生コラム」。さて、コラムとは？ 調べました。『新聞・雑誌などの寸評、囲み記事』とありました。結果、何でもアリと言う事に決め、勝手に文章を進める事にしました・・・・・・・・

先日、私は湯沢へお客様との打合せで秋田自動車道へ乗り、打合せも早々再び秋田自動車道へと順調に帰路へ向かいました。が、次の日の新聞記事で【10台絡む13人ケガ】とありました。湯沢～横手間で13時20分頃の事故です、私が通過したのは12時45分頃。お客様が「メシでも食べて行けばいいねが」の問いに私は「いやぁ～申し訳ねっす次ありますから」とお断りした。もし、メシを食べていれば、と思うとぞっとします。

一瞬の間、もしあの時など言い方はいろいろあります。私は平成13年7月入会です。決して自ら進ん

で入ったJCではありませんが、卒業までの年月にすると約4年半。平成13年1月生まれの息子も4才になり、自分の成長よりも息子の成長がすごい事におどろいています。ここで自分のJC生活に関して述べてもしょうがなく、私の結論からすれば“華は無くても味がある”バックステージがなければ事は進まない訳で、決していい土壌だから綺麗な華が咲く訳ではなく、「見た目は悪いけど何かいい」これである。まだまだ20代、30代“ヘタウマ”でもいい。地域のために限らない感性を創造して行って欲しい。

もしあの時、入会を断っていればこの場も無く、ご卒業された先輩方、メンバーの方々に出会えなかったと思います。どちらかと言えば積極的な方でありませんでした。それでも何かの役に立っていた裏方として卒業を迎えたいと思います。

「感謝します、ありがとう」

情報戦略推進委員会 小泉 隆

3月例会のお知らせ

来る3月15日(火)18:30から、拠点センターアルヴェの多目的ホールにおいて3月例会を開催致します。「情報発信～その先にあるもの」と題して、経営者向けメールマガジンで人気の武沢信行先生にご講演を戴く予定です。多くの気付きを与えてくれる事と思います。皆様の多数のご出席をお待ちしております。なお当日は最寄りの駐車場を実費にてご利用戴く事をご了承願います。

情報戦略推進委員会 委員長 米澤弘晃

記

日時 2005年3月15日 18:30～
会場 拠点センターアルヴェ2F
・多目的ホール
講師 武沢信行先生

編集後記

しかし、広報委員会って云うのは大変ですね～、各イベントの写真撮影、原稿依頼・回収、編集、発送等々・・・他にHP管理にラジオ番組「JC!JC!JC!」どれを採っても会員の皆さんの協力なしにはできないことばかり!そして、これらを取り纏めるのも、委員会メンバーの協力なしにはとてもできない!3月例会も

近いし、本業の不動産も3月が一番忙しい!不手際があったら、指摘してください。以降、直します。JCも一人じゃ何もできませんね!全ての会員の皆様に感謝です!

情報戦略推進委員会 正木 大一